

放射線測定(9月27日実施)の結果(落ち葉堆肥)

更新日 2011年10月06日

落ち葉堆肥の堆積周辺の空間放射線量

測定日 平成23年9月27日(火)曇りのち晴れ

測定場所 根津小学校(根津1-14-3)

測定器 NaI(Tl)シンチレーションサーベイメータTCS-172

測定者 専門家チーム

測定結果

単位: $\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシーベルト毎時)

施設名	施設所在地	測定位置(地表面からの高さ)
		50cm
根津小学校	根津1-14-3	0.22

落ち葉堆肥の放射性物質

試料採取日 平成23年9月27日(火)曇りのち晴れ

試料採取場所 根津小学校(根津1-14-3)

試料品目 落ち葉堆肥

試験年月日 平成23年9月28日(水)

測定機器 Ge半導体検出器

試験方法 ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメリー

測定者 専門家チーム

測定結果

核種	放射能濃度(ベクレル/キログラム)	備考
放射性ヨウ素131	検出限界以下	検出限界(24ベクレル/キログラム)
放射性セシウム134	639	
放射性セシウム137	849	

※放射性セシウム134と放射性セシウム137の合計は1キログラム当たり1,488ベクレルとなります。

専門家チーム所見

今回計測した空間放射線量率の値は、落ち葉堆肥中にある放射性セシウム134・137による影響と考えられます。

落ち葉堆肥については、児童等が直接触れないようにする等の措置が必要と考えます。

飯本武志（東京大学環境安全本部主幹准教授）
古田悦子（お茶の水女子大学ラジオアイソトープ実験センター副センター長）
草間経二（社団法人日本アイソトープ協会放射線安全課課長）

：学校等における落ち葉堆肥の取扱いについて

国や都から、原発事故に伴う放射性物質の降下の影響により、落ち葉堆肥について、高濃度の放射性セシウムが含まれる可能性があるとの通知があったため、専門家チームの協力を得て、平成23年9月27日に、区立小学校1校において、落ち葉堆肥の検体のサンプリング収集及び堆肥の堆積場周辺の空間放射線量の測定を実施いたしました。

1 空間放射線量について

当日、落ち葉堆肥の堆積場の地上50cmにおける空間放射線量の測定を実施した結果、NaI(Tl)シンチレーションサーベイメーターで、0.22マイクロシーベルト毎時の値を示しました。この値は、7月1日に同校の校庭において測定した空間放射線量と比較しても特に高い値ではありません。

2 落ち葉堆肥について

落ち葉堆肥の検体の選定にあたっては、特に放射能が高いと思われる箇所としました。その検体を専門家チームが持ち帰り、ゲルマニウム半導体検出器による測定を実施した結果、セシウム134と137の合計は、農林水産省が肥料等の暫定許容値として示す400ベクレル／キログラムを超える1,488ベクレル／キログラムでした。

3 区の対応について

この測定結果を踏まえ、今後、学校等における落ち葉堆肥の取扱いについては、以下のとおりいたします。

(1) 落ち葉堆肥の使用

落ち葉堆肥は作らないこととし、現在保管している落ち葉堆肥については、肥料として使用しない。

(2) 堆積場等の対応

国が処分方法等を示すまでの間、落ち葉堆肥の堆積場をブルーシート等で養生するとともに、園児・児童・生徒が落ち葉堆肥に直接触れることがないように注意喚起する。

落ち葉堆肥の簡易堆肥器等を使用している場合は、園児・児童・生徒が教育活動上、普段立ち入らない場所に移動し、落ち葉堆肥に直接触れることがないように注意喚起する。

文京区教育委員会

：お問い合わせ先

【放射線測定に関すること】

〒112-8555
東京都文京区春日一丁目16番21号
文京シビックセンター17階南側
環境政策課指導担当
電話番号：03-5803-1260
ファックス：03-5803-1362
[メールフォームへ](#)

【学校における落ち葉堆肥に関すること】

〒112-8555
東京都文京区春日一丁目16番21号
文京シビックセンター20階南側
学務課学事係
電話番号：03-5803-1295
ファックス：03-5803-1367
[メールフォームへ](#)